

## 第2学年 国語科学習指導案

児童 8 名

授業者 千代川 由美

### 1 単元名 そうぞうしたことを、音読劇であらわそう

中心学習材名 お手紙 (光村図書 2年下)

### 2 単元について

#### (1) 児童の実態

これまで子どもたちは、物語を読む学習において、登場人物の行動や会話、挿絵を中心に想像を広げながら読む学習を繰り返してきてきた。「ふきのとう」の学習では、挿絵を利用したり動作化したりしながら登場人物の行動を想像し、音読の仕方を考える活動を楽しみながら学んだ。「スイミー」の学習では、人物の行動や出来事を中心にあらすじをまとめ、思ったことを添えて家の人に紹介する文を書いた。これらの学習を通して、子どもたちは、場面の様子や登場人物の行動を想像する際にどのような言葉に着目すればよいかを学んできた。

このように物語を読むことを楽しみながら行う中で、登場人物の立場になりきって感情移入して読む子どもたちがいる一方で、登場人物の行動の理由やその様子を想像することに難しさを感じている子どもがいるなど個人差が見られる。

#### (2) 学習材について

本単元「そうぞうしたことを、音読劇であらわそう」では、音読劇という言語活動を通して、内容を捉え登場人物の行動を具体的に想像できるようにすることをねらいとしている。

中心学習材「お手紙」は、友達の不幸せをいっしょに悲しみ、幸せを共に喜ぶほのぼのとした心情を描いた作品である。二人の登場人物の行動を中心に、場所や時間の移り変わりが描かれている。また、会話文が中心の作品であることから、誰の言葉か・会話の際の二人の位置、距離、しぐさ、顔の向きを考えることで二人の心情がどう変わっていくかを読み取ることができる。「音読を通して想像する」という活動が効果的な文章である。さらに、お手紙を待つ二つの場面の違いを、「がまくん」と「かえるくん」の行動を対比して読み進めることより、二人の幸せの違いが明らかになると知ることができる。

#### (3) 指導にあたって

指導にあたっては、次の三点に留意していく。

一点目は、本単元で育成を目指す資質・能力を明確にした単元構想である。本単元で育てたい資質・能力は、「人物がしたことや様子を具体的に想像する」である。構造と内容の把握の段階では、「がくしゅう」のページを活用し、想像したことを音読劇で表すというゴールを確認する。音読劇に表すためには、登場人物の行動や様子を思い浮かべながら読めるようになる必要がある。かえるくんが手紙を書いたと言ってしまうこと等、登場人物の行動に対する疑問やみんなで考えたいことを出し合い、一人ひとりが目的をもって読むことができるようにする。精査・解釈の段階では、会話文を中心に、行動や挿絵等、心情を想像できる言葉に着目し、そこから人物の様子や行動の理由を読み深めることができるようにする。単元の終末においては、「ふりかえろう」をもとに、この学習でつけた力を確認する。

二点目は、考えを深める工夫である。精査・解釈の段階では、互いの読みに対する考えを交流する場(教科リーダー進行)を設定する。来年度からの複式指導に向けた準備である。学習課題に対する友達の捉えと自分の捉えをつき合わせて「…さんと同じで…です。」「どこからそう考えたのですか。」等を出し合う。この交流により、何に着目して読み取ったのかが明確になると共に、登場人物の行動の様子や理由に対する読みを深めることができる。その交流を受けて、着目させたい言葉についての発問を行い、登場人物の行動を

追体験したりその行動の理由を問いかけたりすることによって、より具体的に登場人物の行動を想像しながら読めるようにする。また、会話文中心という学習材の特徴から、学習課題把握後とまとめの段階に音読を位置づけ、音読を通して登場人物の行動や様子を想像する。二人が玄関の前に並んで座っている二つの場面对比的に読む場面では、登場人物の表情や口調、動きを想像しながら「なりきって読む」ことを目指す。そして「音読したら想像できた。」と音読の意義を感じ取らせたい。

三点目は、主体性につながる自己評価の観点である。単元末にこの学習でどんな力をつけることができたのかを振り返る場を設定する。「人物の行動や様子を思い浮かべながら読むことができたか。」「会話文を読む時の声の出し方や動きを工夫することができたか。」等、本単元の資質・能力の他に、研究主題に関わって主体的な学び方、発展読書についても振り返る。単元末の振り返り、すなわち目指す姿が明確になると、そこに向かって、この時間は何を身に付けるのかが具体的にになり、振り返りの観点も明確になる。

3 育てたい資質・能力  たいせつ  学習用語

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>◎場面の様子に着目して、登場人物の様子を具体的に想像すること</p> <p> <b>人物の行動や出来事を捉え、あらすじをまとめる</b></p> <p> <b>あらすじ</b></p> <p>「スイミー」</p> | <p>◎場面の様子に着目して、登場人物の様子を具体的に想像すること</p> <p> <b>人物がしたことや様子を具体的に想像する</b></p> <p>「お手紙」</p> | <p>◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと</p> <p> <b>じんぶつと自分をくらべて読む</b></p> <p>「わたしはおねえさん」</p> |
|--|--|--|

4 言語活動 音読劇をする。

5 単元の指導計画

(1) 単元の目標

| 〔知識・及び技能〕   | 〔思考力・判断力・表現力等〕  | 「学びに向かう力、人間性等」  |
|---|---|---|
| <p>① 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。</p> <p>((1) ク)</p> | <p>① 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。 (C (1) エ)</p> <p>② 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。 (C (1) カ)</p> | <p>① 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p> |

(2) 評価規準

| 知識・技能   | 思考・判断・表現  | 主体的に取り組む態度   |
|---|---|--|
| <p>① 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。</p> <p>((1) ク)</p> | <p>① 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 (C (1) エ)</p> <p>② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 (C (1) カ)</p> | <p>① 粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って音読劇に取り組もうとしている。</p> |

(3) 単元指導計画・評価規準 (全12時間)

| 次 | 時   | 学習過程     | ○学習活動  | 学習課題 | 着目する言葉 | 評価規準及び評価方法  |
|---|---|----------|--|------|--------|---|
| 一 | 1   | 構造と内容の把握 | ① P11「単元扉」のリード文や挿絵、題名をもとに、どんなことが起こりそうか発表する。  |      |        | [思考・判断・表現②] 記述 発言<br>・朗読CDを聞き、心に残った所を書いているか確認する。            |
|   | 2   |          | ② 朗読CDを聞き、初発の感想を書き、交流する。   |      |        |   |
|   | 3   |          | ③ 「お話を読んでしょうかいしよう」の学習課題を設定し、P24「がくしゅう」をもとに学習の進め方を確認する。   |      |        |   |
| 二 | 4   | 精査・解釈    | <悲しい気分で、玄関の前に腰を下ろすがまくんとかえるくん>  |      |        | [思考・判断・表現①]音読・発言・記述<br>・登場人物の行動やその理由表情、口調、様子などを想像しているか確認する。 |
|   | 5   |          | ① 1の場面でのかえるくんやがまくんの行動を具体的に想像して、なりきって音読する。  |      |        |   |
|   |   |          | <b>かえるくんとがまくんになりきって音読しよう。</b>  |      |        |   |
|   |   |          | ① ふたりの悲しい気分の理由を考える。  |      |        |   |
|   |   |          | <b>かなしい気分になっている、ふたりの心の声をそうぞうしよう。</b>   |      |        |   |
|   |   |          | 一日のうちの かなしい時<br>ふしあわせな 気もち<br>「だって、ぼく、お手紙 もらったことないんだもの。」<br>「いちどもかい。」<br>「ああ。いちども。」<br>「だれも、・・・空っぽさ。・・・そのためなのさ。」<br>かなしい気分 |      |        |   |
|   |   |          | ① 2の場面のかえるくんの行動を具体的に想像して、なりきって音読する。  |      |        |   |
| 6 | <がまくんへ手紙を書き、かたつむりくんに手紙を届けるようにたのむかえるくん>  |          |  |      |        |   |
|   | ① 2の場面のかえるくんの行動を具体的に想像して、なりきって音読する。   |          |  |      |        |   |
|   | <b>かえるくんのようにすをそうぞうし、なりきって音読しよう。</b>   |          |  |      |        |   |
|   | 大いそぎで 家へ 帰りました。<br>…見つけました。…書きました。…入れました。…とび出しました。<br>「おねがいでけど…。」<br>「まかせてくれよ。」「すぐやるぜ。」 |          |  |      |        |   |
| 7 | <ひるねをしているがまくんに手紙をまつようにさそうかえるくん>   |          |  |      |        |   |
|   | ① 3の場面(前半)のかえるくんとがまくんの行動を具体的に想像して、なりきって音読する。  |          |  |      |        |   |
|   | <b>ふたりのようにすをそうぞうし、なりきって音読しよう。</b>   |          |  |      |        |   |

|    |                                  |       |   |  |
|----|----------------------------------|-------|---|--|
| 二  | 7                                |       | <p>「きみ、おきてさ、…。」<br/>         いやだよ。」<br/>         「…あきあきしたよ。」<br/>         見ました。<br/>         「ひょっとして、…。」<br/>         「そんなこと、あるものかい。」<br/>         「ぼくに お手紙をくれる人なんて、…。」<br/>         のぞきました。<br/>         「ばからしいこと、言うなよ。」<br/>         「…きょうだって、同じだろうよ。」</p>  | <p>[思考・判断・表現①]音読・発言・記述<br/>         ・登場人物の行動やその理由表情、口調、様子などを想像しているか確認する。</p>   |
|    | 8                                | 本時    | <p>&lt;幸せな気持ちで手紙をまつふたり&gt;<br/>         ① 3の場面（後半）のかえるくんとがまくんの行動を具体的に想像して、なりきって音読する。<br/>         ② ふたりの幸せな気持ちの理由について考える。<br/>         ③ 来ると分かっている手紙を4日間も待っていた理由を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しあわせな気持ちですわっている、ふたりの心の声を<br/>         そうぞうしよう。</p> </div> <p>のぞきました。<br/>         「だって、…お手紙をまってるんだもの。」<br/>         「でも、来やしないよ。」<br/>         「きっと、来るよ。」<br/>         「だって、…お手紙出したんだもの。」<br/>         「ああ。」<br/>         「とても いい お手紙だ。」<br/>         しあわせな気持ちで<br/>         長いことまっていた。<br/>         四日たって…<br/>         がまくんは、とてもよろこびました。</p> | <p>[思考・判断・表現②] 発言<br/>         ・登場人物の行動や様子について想像したことを共有しているか確認する。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]音読<br/>         ・粘り強く人物の行動や様子に着目し、登場人物の行動を想像して音読しているか確認する。</p>             |
| 三  | 9                                | 考えの形成 | ① 音読劇で読みたい所を視写し、読み方や動きなどを書きこむ。  | <p>[主体的に学習に取り組む態度] 音読・記述・感想<br/>         ・これまでの学習をいかし、想像したことを音読劇に表そうとしているか確認する。</p> <p>[思考・判断・表現②] 発言・記述<br/>         ・友達の音読を聞いて、読み方や動きについて思ったことを伝え合っているか確認する。</p> |
| 10 | ②グループ毎に練習し、感想を伝える。               |       |   |  |
| 11 | ③友達の助言や読み方から、自分の音読の仕方を考え直して練習する。 |       |   |  |
| 四  | 12                               | 共有    | <p>①音読劇を発表する。<br/>         ②それぞれの工夫の良かった所を中心に感想を交流する。<br/>         ③単元全体を振り返り、つけた力を確かめる。</p>  | <p>[思考・判断・表現②] 発言・記述<br/>         ・友達の音読を聞いて、読み方や動きについて思ったことを伝え合っているか確認する。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]発言・記述<br/>         ・「ふりかえろう」をもとに学んだことをまとめているか確認する。</p>            |

6 本時の指導計画

(1) 目標

○幸せな気持ちですわっているふたりの様子を想像することができる。

(2) 評価規準

・会話や行動に着目して、ふたりの「しあわせな気持ち」を想像している。[思考・判断・表現]

(3) 着目させたい言葉

本時のねらいは、幸せな気持ちですわっているふたりの様子を想像することである。

本単元の資質・能力「人物の行動や様子に着目して、登場人物の様子を具体的に想像すること」を育てるために、次の言葉に着目させる。

のぞきました。  
 「だって、…お手紙をまっているんだもの。」  
 「でも、来やしないよ。」  
 「きっと、来るよ。」  
 「だって、…お手紙出したんだもの。」  
 「ああ。」  
 「とても いい お手紙だ。」  
 しあわせな気持ちで  
 長いことまっていた。  
 四日たって…  
 がまくんは、とてもよろこびました。

(4) 展開

| 段階                                      | 学習活動<br>■主発問 □発問 ・指示  | 期待する子どもの反応  | ・留意点 【評価】   |
|---|---|---|---|
| つかむ                                     | 1 前時までの学習を振り返る  | ○かえるくんにくら言われても<br>お手紙が来るわけないと思っ<br>ている。                               | ・前時までのお話を<br>想起させる。   |
|   | 2 学習課題を把握する   |   |   |
| <b>しあわせな気持ちですわっている、ふたりの心の声をそうぞうしよう。</b> |   |   |   |
| つかむ                                     | 3 課題解決の見通しを立てる<br>・ふたりの心の声を想像できる言葉を探し<br>ながら音読してみよう。<br><br>□ふたりはどんなことを話していますか。<br>・「親愛」「親友」の意味を確かめよう。<br>□「ああ。」は、どのように言ったと思<br>いますか。 | ○手紙に書いたことを話している。<br><br>○明るくうれしそうに言った。<br>○少し顔を上向きにして言った。             | ・一斉読する。<br>・窓の近くで話すふた<br>りの挿絵を提示する。   |
| かんがえる                                   | 4 自力解決する<br>□1の場面の挿絵とどのように違いますか<br>□幸せな気持ちで座っている、ふたりの<br>心の声をふき出しに書きましょう。   | ○うれしそうに肩を組んでいる。<br>○がまくん<br>「手紙が届くのが楽しみ。」<br>かえるくん<br>「がまくん喜んでくれるかな。」 | ・着目した言葉に線を引き、<br>そこから想像したことを<br>ふき出しに書く。<br>[思考・判断・表現] 記述<br>・着目した言葉を手がかりに、かえるくんとが<br>まくんの心の声を想像<br>して書いているか確認<br>する。 |

|       |   |   |  |
|-------|---|---|--|
|       | <p>5 深め合う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えたことを発表しましょう。</li> <li>教科リーダーさんに進めてもらいます。</li> </ul> <p>○○さんの考えに質問や意見はありますか。</p> <p>次の発表をお願いします。</p>  | <p><b>手立て2 交流のポイント</b><br/> <b>友達の発言を聞き、相手に返す時のポイントを提示する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>考えの根拠を問う。</li> <li>自分の考えとの相違</li> <li>学んだこと</li> </ul>         |  |
| ふかめる  | <p>□ふたりは、書いてあることが分かっている手紙を、どうして、長い間待っていたと思いますか。</p> <p>6 まとめる</p> <p>■ふたりの幸せな気持ちはどう違いますか。</p> <p>がまくん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やっと、ぼくにも手紙をくれる友達ができる。</li> </ul> <p>かえるくん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくが書いた手紙を楽しみに待っている。</li> </ul> <p>・ふたりの様子を想像しながら音読劇を試みましょう。(役割音読)</p> | <p>○かえるくんは、手紙が届いてがまくんが喜んでいるから幸せ。</p> <p>○ふたりは、幸せな気持ちだから、待つ時間も楽しかった。</p> <p>○幸せな気持ちをずっと感じていたから。</p> <p><b>手立て2 発問の計画</b><br/> <b>行動の理由や登場人物の表情・口調・様子を具体的にイメージする。</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>二の場面の挿絵シートと教科書を並べて挿絵と一緒に比べる。</li> </ul> <p>[思考・判断・表現] 記述</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>着目した言葉を手がかりに、かえるくんとがまくんの心の声を想像して書いているか確認する。</li> </ul> <p>・グループで役割音読をする。(分担マグネット)</p> |
| ふりかえる | <p>7 ふり返る</p> <p>□どの言葉から、ふたりの「しあわせな気持ち」を想像できましたか。</p> <p>□どのように音読すると想像できましたか。</p>   | <p>○「ああ。」の所から、幸せそうながまくんの様子が想像できました。</p> <p>○動きをつけたら。</p> <p><b>手立て3 振り返りの観点</b><br/> <b>行動に着目して、登場人物の様子を具体的に想像できたか(資質・能力)</b></p>                                       |  |